

平成 30 年度冬期地区交流会報告

今年も、「焼肉ビジネスフェア」の開催に併せて、2019 年 1 月 22 日（火）に東北・関東・甲信越地区交流会を皮切りに、全国 5 箇所（北海道、東京、岐阜、大阪、鹿児島）で交流会が開催されました。

東北・関東・甲信越地区交流会は例年通り、焼肉ビジネスフェア開催前日ということもあり、収容人数にも限界を感じる程の盛況ぶりでした。

交流会の参加者総数は、正会員延べ 156 名、賛助会員延べ 361 名、スタッフその他も含めて、合計 525 名となりました。

各ブロックを代表する理事や総代による交流会開会宣言と共に、各地区ならではの情報も交えてスタート致しました。協会会長でなべしまホールディングス株式会社の山口会長より、今期も好調な業界の動向や協会活動の報告などを交えての挨拶がありました。

且専務理事より JY 情勢報告として、JF（一般社団法人日本フードサービス協会）の会員売上動向、TPP11 や EU との EPA の発効に伴い、米国等を除く国からの牛肉の輸入関税率が引き下がった事などの説明がありました。同時に食品衛生法の改正に伴う HACCP の義務化に向け、協会としての手引書の作成を行うとの報告がありました。

次に第 3 回「焼肉協会の検定試験」の結果について田中理事より報告があり、第 4 回開催に向けての案内がありました。

また今年度、初めて実施した「焼肉料理コンテスト」の説明があり、その後決勝大会の様様をビデオ上映いたしました。

最後に恒例の賛助会員による自社紹介が行われました。

また、新規参加の正会員の挨拶等、各地区ごとのアレンジもあり参加された会員の皆様には有意義な時間になったものと思います。

皆様、今年度の地区交流会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。